

## 建設労働者の労働条件改善・賃金引上げを 道本部建設部会が総会

道本部建設部会は2月8日に第19回定期総会を開き、1年間の活動をまとめるとともに新年度方針を決定しました。会議はオンライン併用で開催し、道本部・部会役員をふくめ4支部9人が参加しました。各支部のとりくみでは、函館支部からは函館市（6現場）と道庁発注工事（3現場中2現場）の現場調査の中間報告（合わせて32人からアンケートを回収）がありました。十勝建設支部では建退共で一人親方12人が加入し5件の事業所からの事務委託を受けています。旭川支部と美幌支部からは事業団・企業組合の事業活動が報告されました。方針では、労働条件改善・賃金引上げのとりくみをはじめ、組織拡大運動や雇用・失業対策などについて確認しました。新年度役員は、河合部会長（函館）、須貝副部会長（旭川）、土屋事務局長（十勝建設）を再選しました。

## 建政研北海道センターが総会

建設政策研究所北海道センターは2月7日に第23回総会をオンラインで開催しました。昨年度の総会が書面開催だったため、2019-2020年の活動もあわせて振り返りながら、2021-2022年の方針が提起されました。北海道センターとして、札幌と旭川における公契約運動に集中しながら、札幌では条例の制定を、旭川では理念型条例から生活保障型条例への発展を目指す方針などが決定されました。また、ウェブアンケートなどを活用しながら、労働者調査などにもとりくみ、「建設政策」誌などにも発信していくことを確認しました。川村雅則理事長（北海学園大学教授）をはじめ、建交労からは引き続き道本部・森国委員長が副理事長に、道本部建設部会から須貝副部会長が事務局長に、河合部会長と土屋事務局長が理事に再選されたほか、新しく道本部の宮澤書記長が理事に選出されました。

## 北海道鉄道本部が春闘要求書提出

北海道鉄道本部は2月9日に「2022年春闘要求書」を提出しました。賃金要求は「正社員の基本給を月額30,000円引き上げること」と、北海道の最賃が時間額28円引き上げられたことをふまえた非正規労働者の賃金引上げでは「エルダースタッフAの基本給4,700円以上の引き上げ」、国が進める子育て支援の観点から22歳未満の扶養手当の改善などを求めています。また「奨学金返済に苦慮する青年社員を支えるために実態の把握と特別貸付制度」を求めるとともに、雪対策をハード・ソフト両面から早急に対策を講ずることも要求しています。

## 道本部青年部が総会

道本部青年部は2月2日にオンラインで総会を開きました。新年度方針では、地域の活動の中で支部どうしの横のつながりも大切にすることや、青年らしく楽しく学習すること、「建交労フェスタ in 京都」（6月10～12日）への参加の呼びかけや「反核キャンペーン」のとりくみなどコロナ禍だからこそやれる青年らしい活動を追求していこうと議論されました。新年度役員には部長に鈴木さん（函館支部）、事務局長に稲葉さん（札幌合同支部）が再選されました。